

令和2年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	岩本町ほほえみプラザ	所在地	千代田区岩本町二丁目15番3号
-----	------------	-----	-----------------

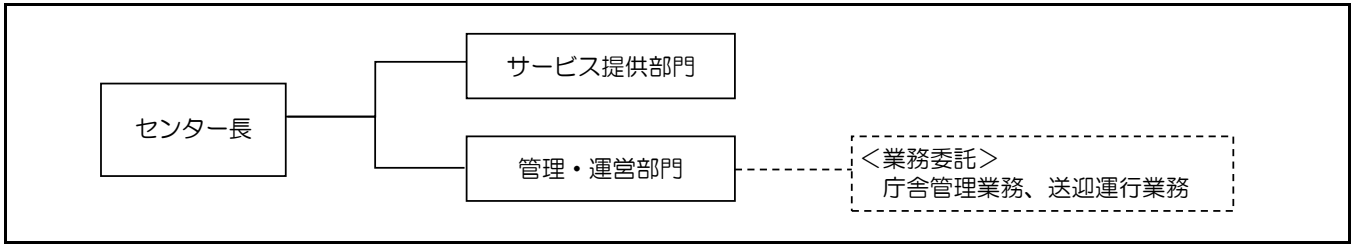
1 指定管理者の概要

名称	社会福祉法人 多摩同協会	代表者	理事長 鈴木 恂子
所在地	府中市武蔵台一丁目10番地の1		
指定期間	平成31年4月1日～令和11年3月31日	報告期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

2 指定管理の概要

施設の目的	介護を必要とする高齢者等の自立した生活を支援し、在宅福祉の充実を図るとともに、地域交流を促進することにより、区民福祉の向上に資する。
管理業務の内容	(1) 高齢者在宅サービスセンターの事業に関する業務 (2) グループホームの運営に関する業務 (3) ケアハウスの運営に関する業務 (4) 区民施設の利用承認に関する業務 (5) 施設・設備の保守及び維持管理に関する業務

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 高齢者在宅サービスセンター事業

	通所介護		介護予防通所介護		計			
	実施日数	利用者数	実施日数	利用者数	定員(日)	実施日数	利用者数	利用率
令和2年度	311日	5,389人	311日	320人	30人	311日	5,709人	61.2%
令和元年度	309日	6,316人	309日	657人	30人	309日	6,973人	75.2%
平成30年度	309日	6,109人	309日	301人	30人	309日	6,410人	69.1%

	認知症対応型通所介護		介護予防認知症対応型通所介護		計			
	実施日数	利用者数	実施日数	利用者数	定員(日)	実施日数	利用者数	利用率
令和2年度	311日	1,410人	311日	0人	12人	311日	1,410人	37.8%
令和元年度	309日	1,531人	309日	0人	12人	309日	1,531人	41.3%
平成30年度	309日	1,215人	309日	0人	12人	309日	1,215人	32.8%

	短期入所生活介護		介護予防短期入所生活介護		計			
	実施日数	利用者数	実施日数	利用者数	定員	実施日数	利用者数	利用率
令和2年度	365日	5,466人	365日	5人	20床	365日	5,471人	74.9%
令和元年度	366日	6,068人	366日	121人	20床	366日	6,189人	84.5%
平成30年度	365日	5,788人	365日	133人	20床	365日	5,921人	81.1%

イ グループホームの運営

	定員	入退所者数		年度末在籍	平均介護度	平均年齢
		入所	退所			
令和2年度	9人	1人	2人	8人	2.5	93.5 歳
令和元年度	9人	4人	4人	9人	2.2	89.7 歳
平成30年度	9人	2人	2人	9人	2.7	93.5 歳

ウ ケアハウスの運営

	定員	入退所者数		年度末在籍	平均介護度	平均年齢
		入所	退所			
令和2年度	20人	6人	4人	18人	0.7	82.5 歳
令和元年度	20人	6人	7人	16人	0.56	84.5 歳
平成30年度	20人	3人	4人	17人	0.9	85.5 歳

エ 区民施設の利用

	多目的ホールA		多目的ホールB		今川記念室	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
令和2年度	124件	1,199人	67件	589人	0件	0人
令和元年度	446件	8,037人	353件	6,001人	208件	3,343人
平成30年度	506件	8,219人	360件	5,614人	209件	3,285人

オ 施設・設備の保守及び維持管理（通年）

- (ア) 建物設備保守管理業務
- (イ) 施設清掃業務
- (ウ) 警備業務 等

5 収支の状況

ア 高齢者在宅サービスセンター事業

イ グループホームの運営

ウ ケアハウスの運営

		計	通所介護	短期入所生活介護	グループホーム	ケアハウス
収入	居宅介護料収入	158,682,895円	69,272,460円	56,481,931円	32,928,504円	0円
	利用者等利用料収入	38,494,348円	6,929,130円	12,543,024円	19,022,194円	0円
	補助金収入	69,695,860円	4,490,158円	6,146,066円	16,811,528円	42,248,108円
	事業収入	27,289,602円	0円	0円	0円	27,289,602円
	雑収入	383,465円	53,555円	84,840円	85,690円	159,380円
	合計(①)	294,546,170円	80,745,303円	75,255,861円	68,847,916円	69,697,090円
支出	人件費	220,052,141円	61,098,023円	55,082,914円	47,928,315円	55,942,889円
	事業費	38,974,861円	9,534,244円	10,480,898円	11,498,002円	7,461,717円
	事務費 ※	40,081,138円	21,267,235円	10,787,671円	4,510,820円	3,515,412円
	合計(②)	299,108,140円	91,899,502円	76,351,483円	63,937,137円	66,920,018円
収支差額(①-②)		-4,561,970円	-11,154,199円	-1,095,622円	4,910,779円	2,777,072円

※ 事務費は雑支出を含む。以下 同。

工 区民施設事業

収 入		支 出	
指定管理料	139,991,000円	人件費	18,018,156円
利用料収入	7,465,570円	事業費	30,788,438円
		事務費	98,792,729円
合計 (①)	147,456,570円	合計 (②)	147,599,323円
収支差額 (①-②)	-142,753 円		

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<ul style="list-style-type: none"> ・通所介護利用者で希望する方には週3回の入浴対応を開始し、また機能訓練の時間を増やす等サービス向上に努めた。 ・短期入所介護事業では、眠りスキャンや非接触型バイタル測定機器を導入し環境整備を図った。 ・グループホームは、オンライン面会やZOOMを利用するとともに、目標稼働率を達成し96.3%であった。 ・ケアハウスは稼働率84.0%と目標88%を下回ったが、感染拡大の防止については工夫し実行できた。 ・昨年度に引き続き千代田区認知症ケア推進チームに参加し、区の施策に連動した動きに努めた。 ・区民施設は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言中は特に貸し出しを中止せざるを得なかった。 ・今後も利用各諸事業について「コロナ禍でも行える活動」を行い、実績向上を目指していくとともに、高齢者の活動拠点として、感染拡大予防に努めながら、地域交流活動を可能な限り進めていく。 	<p>第1回目の緊急事態宣言による第1四半期での落ち込みが後々まで影響し、収入は大幅に減少した。人件費、経費も抑制を図ったため、結果としては、前年度並みの当期活動増減差額であった。</p>

7 区としての評価・今後の方向性

<p>昨年から長期化する新型コロナウイルス感染症は、様々な高齢者施設の利用に負の影響を与えている。そうした中、当該施設においては、通所介護、短期生活入所介護等の高齢者施設のサービスにおいて、前年度比では減少しているものの大きく落ち込むことなく、多くの利用者に継続してサービスが提供されていることは大いに評価できる。</p> <p>また、コロナ禍での厳しい感染症対策を講じながらも、通所介護において週3回の入浴対応や機能訓練の時間増加、グループホームについては空室を作らない取組みやオンライン面会を活用すること等その利用者やご家族に配慮した質の高い介護サービスを提供していること等も同様に評価できる。</p> <p>一方、コロナ禍の影響を受け、高齢者施設、区民施設ともに収入が減少し、収支がマイナスとなっていることが懸念される。人材確保の問題等も相まって厳しい環境下ではあるが、収支の改善、一層の経営努力に努めてほしい。</p> <p>長期化するコロナ禍を見据えた対応が必要となってきた。情勢を見ながら、区と引き続き対応についての協議をお願いする。</p>
